

湾岸戦争症候群の原因

軍が調達したウェストヴァージニア州レイネル市イスラテックス社製の80万着の生物化学防護服に欠陥があることが発覚した。着用している兵士を死に至らしめるのに十分な生物・化学物質が侵入できるほどの穴が開いていたり破れたりしていたのである。

イスラテックスは、こうした防護服の製造に関し、1980年代末から1990年代初頭にかけて国防省から4400万ドルもの契約を獲得した会社だが、1995年に破産を宣言した。アメリカの兵士の大量虐殺の理由は、金銭的利益以外の何ものでもなかったのである。

アメリカの裁判制度はイスラテックスの経営者にどのような処分を行ったのだろうか？ 元社長のエイブ・ブリンには、4ヶ月の勾留とその後3年間の監察および4000ドルの罰金が課せられた。その弟、イエフダー・ヨアフ・ブリン（一旦は逃亡したが、ニューヨークのJFK国際空港で逮捕）に課せられたのは、6ヶ月と1日の勾留その後2年間の監察および罰金4万ドルである。同社製造管理者のツヴィ・ローゼンタールに下された処分は、6ヶ月の自宅拘禁と3ヶ月の保護観察、罰金2万ドルであった。

（『ユダヤ・ロスチャイルド世界冷酷支配年表』p266~267）

調べてみるとこのあたりの情報は少ないのですが、湾岸戦争の米軍の着用装備品を担当していたのはイスラテックス社で間違いなく、そして確かに、イスラテックス社はなぜか1995年に倒産しています。また裁判記録は公的なものである性格上、上記の記載に誤りがあるとは思えません。記載されてあるように、**米国ブッシュ Sr. 政権は自国兵士に対しても、大量殺戮を仕掛けたと言っても間違いはないでしょう。**